

[39\_1] 図書館情報 : 九州大学附属図書館報 :  
39(1)

<https://doi.org/10.15017/10687>

---

出版情報 : 図書館情報. 39 (1), pp.1-20, 2003-07-31. 九州大学附属図書館  
バージョン :  
権利関係 :

九州大学附属図書館報

# 図書館情報

The Kyushu University Library Bulletin

Vol. 39, No. 1 (2003)

## 【目 次】

医学分館の古医書・画像資料データベースについて.....	2
九大が所蔵する記録史料の状態と活用(4)江戸の科学「桑木文庫」.....	4
第44回開学記念貴重文物展観と公開講演会.....	6
本年度の研究開発室活動.....	8
平成14年度特別図書購入一覧.....	9
電子ジャーナルの整備について.....	10
平成14年度各種統計.....	11
平成15年度附属図書館商議委員名簿.....	13
人事異動.....	14
図書館日誌.....	15
自著紹介.....	17
本学関係者著作寄贈図書.....	19
新図書館だより 第3回.....	20

### 九州大学附属図書館のシンボルマークとマスコットキャラクター



#### シンボルマーク

九州大学の「九」の字の中に図書館の「図」の字を重ねて輪郭を作り、キャンパスを彩る木々の緑色と桜の桃色、紅葉の秋色を配色してつぼみに仕立てている。知識の泉(図書館)を糧に伸びやかに成長することを願う若い芽(学生)を象徴する。



#### マスコットキャラクター きゅうと君

「九」の字と「図」の字を重ねてデザインされている。好奇心旺盛なきゅうと君は、知識と情報を求めて頭の触手を回転させて飛び回る。

# 医学分館の古医書・画像資料データベース について

Wolfgang Michel

インターネットが広く普及し、Google Picture Searchのような特別な検索システムが揃っている現在でも、授業や講演、出版物用に使える良質な画像をネット上で探すとなるとそれほど簡単ではない。ウェブサイトに見られる画像は質の良くないものがほとんどで、また著作権の問題が画像利用の障害となることも多い。医史学関連の画像ならば、米国国立医学図書館(NLM)が、写真や印刷物6万点をデータベース化した「Images from the History of Medicine (IHM)」をネット上で公開しているが、ここにある日本や中国の医史学関連の画像資料は約100点ほどにすぎない。また効果的な検索語を選ぶためには専門用語の知識とある程度の根気が求められる。

九州大学附属図書館医学分館の貴重古医書コレクションは、医学分館の保存図書館での数々の発見や医学部の研究室からの古書管理の引き継ぎもあり、この数年で国内最大級の古医書コレクションといえるまでになった。洋書や和漢書の大部分についてはすでに目録を作成済みである。芦北卓也、大島明秀、日比佳代子、内山一幸、藤田理子各氏の尽力により書誌学的に正確な目録を作成することができた。和漢書と写本の目録には、手書きの補足や印などについての付随の情報も多数収録されている。

( [http://herakles.lib.kyushu-u.ac.jp/igaku/cat\\_east.html](http://herakles.lib.kyushu-u.ac.jp/igaku/cat_east.html) )



図1 貴重古医書コレクションの和漢書総目録の例

両目録とも古医書コレクションのウェブサイトからダウンロードでき、また国立情報学研究所の総合目録データベースWWW検索サービス (<http://webcat.nii.ac.jp/>)で確認できる。

特に和漢書の画像資料へのネット上のアクセスについては十分であるとはいえず、平成14年度に日本学術振興会から科学研究費補助金(研究成果公開促進費)の交付を受けて「九州大学医学分館所蔵貴重古医書・画像データベース」を作成し、インターネットで公開している。

( <http://icomb.lib.kyushu-u.ac.jp/index.html> )



図2 古医書画像資料データベースのページ

そのためのソフトウェアの開発は附属図書館研究開発室の喜田拓也講師が行った。このデータベースは現在(2003年7月)専門の業者がカラー撮影した約9,500点の和漢・洋書の画像(標題紙、目次、挿し絵)を網羅している。特に重要と思われる書籍は全文を収録している。

画像資料を検索する際、特定の画像を求めているのでなければ、書籍のタイトルリストから出発すれ

ばよい。具体的な資料を探すのであれば、キーワード検索が便利である。人名、標題などコレクションの総目録からのキーワードはもちろん、「心臓」、「Herz」、「Heart」、「coeur」のような一般語を用いて、当該の画像資料を探すこともできる。著者像、扉絵、扉題、目次のみ抽出も可能である。和漢籍を調査したいが、漢字入力ができない海外のユーザーのために、著者名、書名などの基本データをヘボン式のローマ字表記でデータベースに入れてある。

検出した画像は当該文献の書誌データとともに表示される。モニター上で見るだけなら画像の品質は通常のもので十分であるが、印刷用や詳細な調査用に同じものが高品質画像でも用意されている。



図3 検索結果のページ

また、個々の画像については専用のビューア (Kyushu University Library Image Viewer: kuliv) を使って高精細画像 (JPEG 画像、約 1 MB) の縮小や拡大が可能である (Windows 上の Internet Explorer 6 と Netscape 7 で動作確認済み)。



図4 kulivで拡大した高精細画像

論文などへ掲載をする場合は申請不要であるが、出典及びコレクションについて明記すること。また、図書への掲載についてはダウンロードできる「貴重図書掲載許可申請書」(pdf)を提出しなければならない。

これまでの反響から見て、この画像資料データベースとともに医学分館の貴重古医書コレクションは、いずれは日本国内だけでなく海外においても、日本の医史学という分野における有数の情報源のひとつになるだろうと思われる。

(ヴォルフガング・ミヒェル 言語文化研究院教授  
附属図書館研究開発室室員)

## 九大が所蔵する記録史料の状態と活用(4)

## 江戸の科学「桑木文庫」

平岡隆二  
宮崎克則

附属図書館5階の貴重書庫に保管されている「桑木文庫」は、和・漢・洋の科学史に関する古書を集めた約2,800点ほどのコレクションです。



「桑木文庫」の存在は、科学史を専門とする研究者の間ではすでに知られており、「国内有数のコレクション」と評価されています。ところが、「桑木文庫にはいったいどんな史料が含まれているのか？」といった素朴な問いかけに対しては、これまであまり情報が提供されていませんでした。

1968年、西日本科学史学会によって「桑木文庫」の一覧が『科学史研究』2号に掲載されていますが、それは書名・作者・年代のみのデータであり、誤りも少なくありません。そこで、新たな目録の作成を目指して、平成15年7月より、博物館学実習として「桑木文庫」の整理を始めました。書名・作者はもとより、形態・書型・巻数・書肆・出版地など最大限のデータを抽出し、『国書総目録』との照合も行っています。



## 江戸幕府の天文方史料

「桑木文庫」には、江戸幕府の天文方を代々務めた「渋川家」に由来する史料がいくつか収蔵されています。

## 渾盖通憲図説(No. 31)

これは、明末清初期の中国で活躍した李之藻(1565 - 1630)の著書『渾盖通憲図説』(こんがいつうけんずせつ)の写本です。



この書物は、江戸時代を通じ、かなり広範囲に普及し、珍しいものではありませんが、この「桑木本」には、幕府の天文方を務めた高橋景保(1785 - 1829)の蔵書印(求己文庫)と、彼自身の奥書があります。また、景保の実弟で渋川家の養子となり、天文方になった渋川景佑による書き込みも見られます。つまりこれは、幕府天文方の学者が2代にわたって利用した研究書ということになります。

## 天経或問發揮(目録 No. 18)

明(中国)の游芸が書いた『天経或問』は、江戸時代を通じてもっとも読まれた天文学の入門書です。それゆえ、内容を初心者向けに分かりやすく解説したり、あるいは批判したりする「注釈書」が多数出

されました。

これは、享保期に活躍した有名な和算家、松永良弼の作で、『天経或問』に「注釈」を加えるという



形で書かれています。松永の『天経或問發揮』(てんけいわくもんはつき)は、刊行されず、写本として流布しますが、現存するのは東北大学と九大「桑木本」の2点が確認されるのみです。

### 桑木 彥雄(くわき あやお)教授

「桑木文庫」の大部分は、九州帝国大学工科大学教授、桑木彥雄(1878 - 1945)によって収集されました。桑木教授は、明治32年に東京帝国大学理科大学を卒業、ヨーロッパへ留学、九州帝国大学の創立(明治44年)時に初代物理学教授として着任しました。昭和20年に没するまで、世界の物理学者や日本の各界の著名人と積極的に交流し、また自らもさまざまな分野で研究・執筆・講演活動を行いました。

桑木教授は、アインシュタインの「相対性理論」を日本へ紹介した第一人者であり、アインシュタインとも交友関係にありました。大正11年、桑木教授はアインシュタインを九大に招いています。前列の右から2人目がアインシュタイン。前列左から2人目が桑木教授です。

アインシュタインが桑木教授に送った色紙には、「私が知り合う喜びを持った最初の日本人物理学者である、物理学者兼認識論学者桑木教授へ。友情の思いでに。アルベルト・アインシュタイン1922年自



然はつんとすました女神である」と記しています。

桑木教授が、科学史に興味をもち、古書を集め始めたのは、九大への赴任後まもなくのことでした。教室費用のほとんどを投入して購入したコレクションは、東北大学の「狩野文庫」と並び、江戸の科学を解明するための宝庫です。

桑木教授は次のように述べています。「私は九大在任中、大正の初めに、図らずも長崎で本木、志筑等阿蘭陀通詞の訳稿等を見、又大分で梅園及萬里の著述草稿等を見てから、日本・支那の科学の古文献の蒐集を思い立ち、続いて西洋の科学史文献を集め、20年余の間に相当の量に達しました。其中、狩野享吉先生が日本の古歴史天文書を蒐集せられたものを譲受けたものもあり、又物理学史の著者 Edmund Hoppe 翁にゲッチンゲンで遇ひ、翁の死後、其の遺産の科学史文献500 - 600冊を買受けたものもあります。皆九大の教室所蔵で、資金は鮎川義介氏の好意によったものもあります」

(ひらおか りゅうじ 比較社会文化研究科博士課程)

(みやざき かつのり 総合研究博物館 助教授)



## 第44回 開学記念貴重文物展観と公開講演会 「昭和28年西日本大水害写真・ 資料展及び公開講演会」を開催

中央図書館では開学記念行事の一環として、昭和28年西日本大水害写真展・資料展を「水・川・家・人の記憶」- 西日本大水害から50年、災害を忘れないために - と題して5月9日から18日までの10日間開催しました。この時の水害は九州・山口各県で死者・行方不明者が1,000名を超え、建物全壊・流失6,000戸弱という未曾有の大災害でしたが、この大惨事の記録を後世に伝えるという大学の方針に基づいて図書館職員が約1年間かけて被害を受けた各地を回り、新聞社、自治体等から3,700枚を超える水害写真と関連資料約130点を収集し図書館で整理・保管していたものです。



展示会場レイアウト

今年の水害から節目の50年にあたり、九州の主な被災地を6地域に分け約500点を一般公開しました。一般の関心も高く、テレビや新聞でも報道され会場には当時の水害被災経験者や多くの市民、はじめて水害を知る学生まで熱心に展示写真に見入る風景がみられ、期間中450名の見学者がありました。また、5月10日(土)には関連公開講演会として当時、新聞記者として被災地取材した江頭光氏と本学西部地区自然災害資料センターの橋本晴行助教授による講演会も開催され多くの聴衆が聞き入りました。また、この模様は情報基盤センターによりライブでインターネット配信されました。



講演する元新聞記者 江頭光氏



展示写真 「水没した遠賀川駅」

### 昭和28年西日本大水害展示会 感想文から

毎年の展示会を楽しみにしている者の一人です。何時も思いがけないものを拝見して知識を得ています。ありがとうございました。

(市内女性50代以上)

当時の写真や新聞記事など、なまなましい記録が残されていることに感心しました。もう少し気象(気圧、降雨量など)の情報が多ければ、今後の参考になると思う。

(市内男性50代以上)

自分の実家のすぐ近所の写真があって大変興味深かった。  
(本学学生男性20代以下)

昭和28年の大水害は北九州市の到津にある高校在学時に悲惨なことだったと聞いていました。山崩れ、山津波などで自分の生まれる前に大変なことがあったのですね。お花がきれいに活けてあり、亡くなった方へのなぐさめになりますね。数年前の水害では子供と登校しようとしてあきらめました。

(市内女性30~40代)

北九州・祇園橋のように、当時と現状との比較写真は迫力を感じました。  
(熊本男性50代以上)

自分の家系がこの災害を機に筑後を離れたため、関心を持って来ました。自分自身では体験していないが自分の現在に影響を及ぼした出来事の一端に触れ、感慨深いです。写真が災害状況の記録伝達の機能と併せて災害への情動喚起の機能を持つことを認識しました。研究する価値があると思いますので、網羅的かつ恒久的に使えるデータベースを作って頂けたらと思います。

(市内男性30~40代)

この水害から河川学が何を学んだかについて触れて欲しかった。また、天災か人災かの対立が九大内にもあったが全く表れていない。

(元本学教官男性50代以上)

私が通っていた小学校には大水害の時に用いられたという木製ボートが残っていて、小学生の私はいつもそれを見ていたのですが、全くと言っていいほど、その時の様子がイメージできないでいました。しかし、今回この展示会で写真を見ることができて(よくわかる場所の写真も何枚もありました)その時の様子が初めてわかりました。とても印象に残りました。

(本学学生男性20代以下)

28年当時、門司に住んでいました。門司駅の地下道をゴムボートで渡りました。どの場面を見ても只々感動で胸一杯になります。この報道写真のことは忘れることはないです。本当にありがとうございました。

(市内女性50代以上)

たくさんの感想を頂きました。また別の機会にご紹介させていただきます。

## 医学分館施設開放報告

医学分館では、開学記念行事の一環として医学分館施設開放ということで、平成15年5月7日(水)~10日(土)に学内教職員・学生および一般市民を対象に「貴重古医書の公開展示」を実施しました。また、来館者は常設展示している「ピカソコレクション」(リトグラフやポスターなど76点)にも見入っていました。

## 六本松分館施設開放報告

六本松分館においては開学記念行事としては初めて、六本松分館施設開放ということで、平成15年5月7日(水)~10日(土)に学内教職員・学生および一般市民を対象に「古文書・考古学資料の公開展示」を実施しました。期間中135名の見学者がありました。展示内容としては、分館所蔵の檜垣文庫の古文書より、「木下(豊臣)秀吉書状」と「博多絵図」の2点を、また、旧玉泉館収蔵の考古学史料より、縄文時代の土器、青銅製の鏡と剣、江戸時代の和鏡や中国古銭など、160点余りを展示ケース4台に分けて公開展示しました。古文書については吉田昌彦六本松分館長に、考古学史料については比較社会文化研究院溝口孝司助教授にそれぞれ監修をお願いしました。



六本松分館展示会場



## 本年度の研究開発室活動

本年度における研究開発事項及び室員は次のとおりです。新しく、事項「4」が加わり全11項目です。

### ① 図書館の将来計画に関する調査研究

室員：藤田昌也  
 （附属図書館副館長・  
 経済学研究院教授）

九州大学附属図書館としての将来計画、特に、元岡地区への移転統合、国立大学の独立行政法人化における図書館のあり方等、図書館の将来計画について調査研究する。

### ② 電子図書館システムの研究開発

室員：松尾文碩  
 （情報基盤センター長・  
 システム情報科学研究院教授）  
 喜田拓也  
 （研究開発室講師）  
 南俊朗  
 （研究開発室特別研究員・  
 九州情報大学教授）

電子図書館化推進のための基礎及び実用化に関する研究を行う。特に、図書目録カードのイメージデータによる書誌情報検索支援システムの総合的支援システムの実用化に重点をおいた研究開発を進める。その他、参考調査業務支援システム等の電子的情報収集・検索システム、ICタグを利用した図書館機能の電子化・自動化、図書館サービスのパーソナル化、書誌情報の遡及入力支援システムなどに関して、要素技術からその適用システムに至る研究を推進する。

### ③ ホームページ等、附属図書館広報活動における英文化に関する調査研究

室員：Cobbing Andrew  
 （留学生センター教授）

ホームページをはじめ附属図書館が行う各種の広報活動について、国際化に対応できる英文化を図り、より国際的な視点から調査研究を行う。

### ④ 図書館職員の専門性に関する調査研究

室員：竹村則行  
 （人文科学研究院教授）  
 西村重雄  
 （法学研究院教授）

図書館職員が専門性を自ら持つために、特定専門分野教官の協力による研修等を通して培い、九州大学附属図書館においていかにそれを活かしていけるか等の調査研究を行う。

### ⑤ 貴重資料の画像及び書誌データベース作成に関する研究開発

室員：今西裕一郎  
 （人文科学研究院教授）

九州大学附属図書館で所蔵する貴重資料の画像及び書誌データベース作成に当たっての対象資料の選定、入力方式、表示方式、検索法等に関する研究開発を行う。

### ⑥ 古書・文書データベース構築に関する調査研究

室員：吉田昌彦  
 （比較社会文化研究院教授）  
 宮崎克則  
 （総合研究博物館助教授）

古書・文書整理検討委員会から出された報告書（平成9年2月）に盛り込まれた検討の後を受け、九州大学附属図書館及び各部局毎に分散所蔵している古文書類の一元化された目録データベースを作成、電子化するための方策等について具体化するための調査研究を行う。

### ⑦ 統合移転後の新図書館建設に関する調査研究

室員：山野善郎  
 （人間環境学研究院助教授）

九州大学のキャンパス移転後の新図書館建設計画に向けて、新図書館の設計等、理想的な大学図書館

を建設するための調査研究を行う。

### ⑧貴重古医書のデータベース化及び医史的、書誌学的な調査研究

室員：Wolfgang Michel  
(言語文化研究院教授)

工学部旧保存書庫収蔵の医学部蔵書中には、先達の収集になる多数の16 - 19世紀の貴重書が含まれている。平成12年度から平成13年度まで具体的に調査研究を行って、平成14年度は科学研究費補助金の交付を受けデータ作成が進んでいる。引き続き、これの遡及目録、データベース化による公開を促進し、併せてコレクションとしての医史的及び書誌学的な資料価値等に関する調査研究を行う。

### ⑨アジアとの間における図書館間交流の推進に関する調査研究

室員：松原孝俊  
(韓国研究センター教授)

九州大学附属図書館は、平成11年度の韓国ソウル大学校中央図書館に続き、平成14年度に慶北大学校中央図書館との間に図書館間交流協定を締結し、平成15年度は中華民国台湾大学図書館との交流協定締

結を計画している。そこで、これらに関する具体的な計画立案と実施に関する調査研究を行う。

### ⑩ I C タグによる図書館運用に関する調査研究

室員：藤崎清孝  
(システム情報科学研究院助教授)

九州大学附属図書館における図書貸出/返却窓口の作業の効率化、図書検索時間の短縮、無人ゲートによる入出者管理など、図書館サービスの拡大を目指したIT化推進のために、ICタグを用いた図書館運用に関して調査研究を行う。

### ⑪レファレンス事例検索システムに関する調査研究

室員：竹田正幸  
(システム情報科学研究院助教授)

九州大学附属図書館におけるレファレンス業務支援のために、過去の事例を蓄積し、今後のサービス提供に役だてるためのレファレンス事例検索システムの構築に関する情報収集と調査研究を行う。とくに、九州地区大学図書館協議会の各図書館との連携も考慮し、今後の図書館の電子化に対応できるシステムの実現法について調査研究を行う。

## 平成14年度 特別図書購入一覧

資料名等	出版形態	出版社等	部局
Documents related to diplomatic and military matters1966 . Vol .1 - 9 . (アメリカ合衆国対日政策文書集成 ; 10 : 日米外交防衛問題 1966)	図書	柏書房	六本松分館
Documents related to diplomatic and military matters1965 . Vol .1 - 9 . (アメリカ合衆国対日政策文書集成 ; 9 : 日米外交防衛問題 1965)	図書	柏書房	六本松分館
Documents related to diplomatic and military matters1964 . Vol .1 - 10 . (アメリカ合衆国対日政策文書集成 ; 8 : 日米外交防衛問題 1964)	図書	柏書房	六本松分館
Documents related to diplomatic and military matters1956 . Vol .1 - 10 . (アメリカ合衆国対日政策文書集成 ; 7 : 日米外交防衛問題 1956)	図書	柏書房	六本松分館
Middle English Dictionary / editor in chief : Robert E. Lewis . 全117分冊 (中英語大辞典)	図書	The Univ. of Michigan Press	六本松分館
国立公文書館所蔵公文別録 68 ~ 124リール, 目録	マイクロフィルム	ゆまに書房	図書館
International Bibliographie des Zeitschriftenliteratur aus allen Gebieten des Wissens. Bd 37 (2001) (雑誌論文国際目録 第37巻)	CD-ROM	F. Dietrich Verl .	図書館

# 電子ジャーナルの整備について

九州大学附属図書館では、電子ジャーナルの提供とその拡充に努めるとともに、文部科学省および学内校費からの予算配分により、全学からアクセスできる電子ジャーナルの整備を図っています。

現在、本学で提供される電子ジャーナルは、Wiley, Elsevier, Springer, Blackwell など主要大手出版社のほか、学会系の一部、アグリゲータ系のもの等が利用可能です。また、Web of Science, Ovid 等の文献データベースの検索結果から電子ジャーナルのフルテキストへのリンクサービスも行っております。

なお、利用にあたっては、九州大学電子ジャーナル集の使用上の注意をご一読ください。また、著作権、利用規程も遵守してください。

\*九州大学電子ジャーナル集のページ

<http://bacchus.lib.kyushu-u.ac.jp/kyushu/>

附属図書館では、電子ジャーナルの利用環境の整備に日々努力していますが、まだまだ利用者にとって不便なところも沢山あるかと存じますが、今後の参考にさせていただきますので、ご意見、ご感想などありましたら、ぜひお聞かせください。

\*附属図書館電子ジャーナルリンク整備

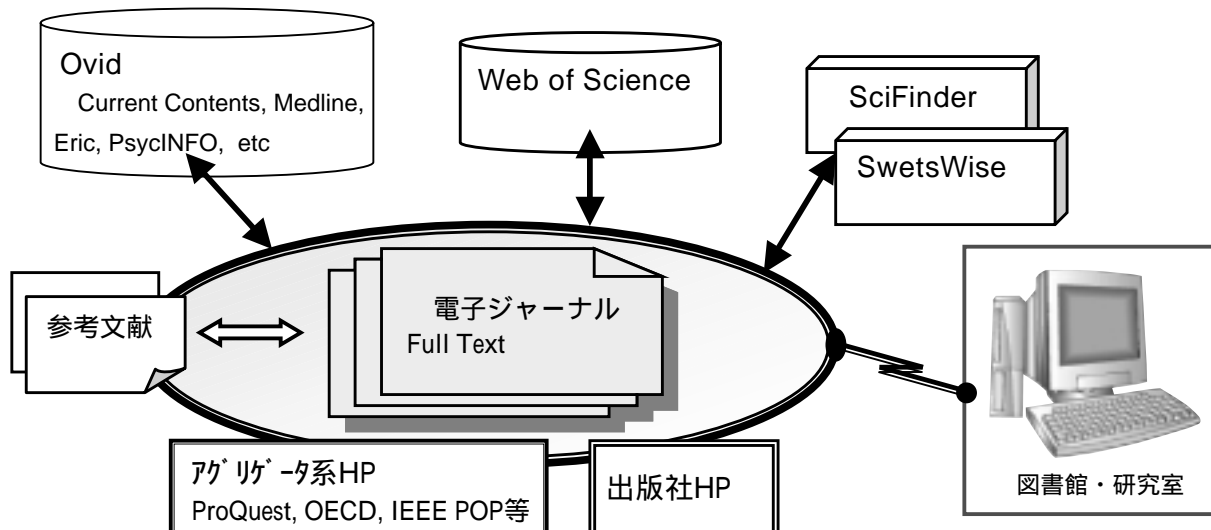
および利用案内 WG メールアドレス

[ejwg@lib.kyushu-u.ac.jp](mailto:ejwg@lib.kyushu-u.ac.jp)

平成15年度導入のオンライン・ジャーナル

出版社等	タイトル数
American Chemical Society	18
American Institute of Physics	14
American Society of Civil Engineers	28
Association for Computing Machinery	262
Blackwell Publishing (Synergy)	630
Cambridge University Press	24
Elsevier Science (Science Direct)	1,783
IEEE (ASPP Online, POP Online)	244
John Wiley & Sons	420
JSTOR (Art and Sciences Collection 1 - 2)	344
Karger	85
Kluwer (Kluwer Online)	643
LexisNexis (Academic & lexis.com)	3,559
MCB University Press	134
OECD (Source OECD Books & Periodicals & Statistics)	1,544
Oxford University Press	164
ProQuest (Academic Research Library)	1,983
ProQuest (Health & Medical Complete)	300
Springer (LINK)	438
Taylor & Francis	520
その他	543
合計	13,680

\*契約の都合上、全ての年のオンライン・ジャーナルが閲覧できるとは限りません。



## 平成14年度九州大学附属図書館入館者統計

部 局	中央図書館	%	医学分館	%	六本松分館	%	合 計	%
文学部	23,936	5.65	149	0.11	15,282	7.25	39,367	5.05
教育学部	6,368	1.50	259	0.18	3,766	1.79	10,393	1.33
人間環境学研	8,191	1.93	266	0.18	241	0.11	8,698	1.11
法学部	45,458	10.73	668	0.46	23,081	10.96	69,207	8.87
経済学部	30,021	7.09	689	0.47	21,565	10.23	52,275	6.70
理学部	68,050	16.06	1,008	0.69	27,853	13.21	96,911	12.42
数理学研	8,478	2.00	44	0.03	423	0.20	8,945	1.15
工学部	76,136	17.97	652	0.45	61,114	28.99	137,902	17.68
システム情報	5,011	1.18	82	0.06	71	0.03	5,164	0.66
農学部	69,684	16.45	1,160	0.80	20,272	9.62	91,116	11.68
医学部	2,830	0.67	75,461	51.77	5,345	2.54	83,636	10.72
医学部附属病院	48	0.01	7,110	4.88	38	0.02	7,196	0.92
歯・歯学部病院	1,563	0.37	17,194	11.80	2,336	1.11	21,093	2.70
医療短大	1,647	0.39	19,755	13.55	70	0.03	21,472	2.75
薬学部	1,237	0.29	11,128	7.63	4,414	2.09	16,779	2.15
生医研	9	0.00	861	0.59	0	0.00	870	0.11
比較社会文化研	4,617	1.09	361	0.25	15,694	7.45	20,672	2.65
言語文化研	504	0.12	47	0.03	725	0.34	1,276	0.16
大学教育研究センター	49	0.01	2	0.00	364	0.17	415	0.05
情報基盤センター	122	0.03	1	0.00	1,037	0.49	1,160	0.15
総合理工学研	1,948	0.46	35	0.02	34	0.02	2,017	0.26
応研	34	0.01	0	0.00	0	0.00	34	0.00
機能研	20	0.00	4	0.00	0	0.00	24	0.00
健康科学センター	12	0.00	23	0.02	45	0.02	80	0.01
先端科学技術共同センター	70	0.02	0	0.00	2	0.00	72	0.01
石炭研究資料センター	12	0.00	0	0.00	5	0.00	17	0.00
図書館	592	0.14	6	0.00	42	0.02	640	0.09
事務局	83	0.02	0	0.00	3	0.00	86	0.01
学務部	4,089	0.97	0	0.00	124	0.06	4,213	0.54
21世紀プログラム	243	0.06	5	0.00	953	0.45	1,201	0.15
放送大学	122	0.03	180	0.12	2	0.00	304	0.04
総合研究博物館	110	0.03	0	0.00	8	0.00	118	0.02
その他(元教官・卒業生等)	33,726	7.96	5,622	3.86	3,826	1.82	43,174	5.54
その他(他大学)	4,014	0.95	710	0.49	794	0.38	5,518	0.71
その他(一般市民)	24,616	5.81	2,280	1.56	1,248	0.60	28,144	3.61
合 計	423,650	100.00	145,762	100.00	210,777	100.00	780,189	100.00

## 休日における図書館利用状況(平成14年度)

開館日	中央図書館		医学分館		筑紫分館		六本松分館	
	土・日・祝日		土・日・祝日		土曜日		土・日・祝日	
	入館者数	開館日数	入館者数	開館日数	入館者数	開館日数	入館者数	開館日数
4月	3,787	9	993	9	68	4	1,672	9
5月	3,757	9	1,366	10	124	3	2,511	10
6月	5,208	10	1,462	10	142	5	2,607	10
7月	6,242	8	1,190	8	124	3	2,456	8
8月	2,259	5	673	5	111	5	0	0
9月	6,095	11	3,670	11	113	4	4,668	10
10月	3,432	9	1,489	9	80	4	1,214	9
11月	4,274	10	1,276	9	100	4	1,543	10
12月	3,689	8	1,337	8	85	3	1,392	8
1月	3,413	7	1,082	7	69	3	1,040	5
2月	7,481	9	2,316	9	74	4	3,492	9
3月	3,927	11	1,172	11	109	5	835	9
合計	53,564	106	18,026	106	1,199	47	23,430	97
1日平均	505		170		26		242	

## 平成14年度 図書館利用統計

	中央図書館	医学分館	筑紫分館	六本松分館	合計
入館者数 (学外者：内数)	423,650 (62,356)	145,762 (8,612)	27,075 (270)	210,777 (5,868)	807,264 (77,106)
館外貸出冊数	72,292	24,669	4,132	40,348	141,441
内訳 {					
教職員	6,381	5,696	3,739	10,185	26,001
学生・院生等	65,510	18,709	393	30,163	114,775
学外者	401	264	0	0	665
レファレンス件数	5,215	13,889	983	7,862	27,949
内訳 {					
教職員	906	8,889	549	786	11,130
学生・院生等	2,751	4,306	434	6,876	14,367
学外者	1,558	694	0	200	2,452
内訳 {					
所在調査	1,714	8,993	590	2,684	13,981
事項調査	880	1,916	98	8	2,902
利用指導・その他	2,621	2,980	295	5,170	11,066
オンライン情報検索サービス件数	10	112	-	-	122
内訳 {					
DIALOG	0	7	-	-	7
JOIS	9	105	-	-	114
NACSIS - IR	1	0	-	-	1
文献複写サービス件数	152,187	100,392	-	12,369	264,948
学内者の複写件数	133,629	57,565	-	11,422	202,616
学外からの受付件数	13,425	38,560	-	-	51,985
内訳 {					
国内	13,423	38,524	-	-	51,947
国外	2	36	-	-	38
学外への依頼件数	5,133	4,267	-	947	10,347
内訳 {					
国内	5,073	4,205	-	938	10,216
国外	60	62	-	9	131
図書・雑誌の相互貸借件数	3,656	138	-	1,360	5,154
他機関への貸出件数	2,666	105	-	758	3,529
他機関からの借用件数	990	33	-	602	1,625
内訳 {					
国内	987	33	-	602	1,622
国外	3	0	-	0	3

## 平成14年度 データベース利用統計

データベース名	件数	データベース名	件数
WEB of Science	368,246	NSCDNet	25,905
OvidNet 2	64,696	CACD	532
Current Contents	27,963	内訳 {	
Eric	302	医学中央雑誌	18,980
Medline	31,520	JournalCitationReports	4,678
PsycInfo	3,587	JICST 化学技術用語シソーラス	507
CancerLit	307	今日の診療	1,208
EBMR	356	SciFinder Scholar	33,922
EconLit	456		
CINAHL	205	合計	492,769

WEB of Science は保守作業によるイントラネット版サービス停止のため、5～7月の件数カウントができなかった

OvidNet 2 の「CINAHL」は平成14年9月から導入

NSCDNet の「CACD」は12月末で提供を終了

NSCDNet の「今日の診療」は1月から運用開始

# 平成15年度附属図書館商議委員名簿

平成15年7月1日現在

委員	長	有川節夫	システム情報科学研究院	教授	図書館長
委員		藤田昌也	経済学研究院	教授	副館長
		野瀬善明	医学研究院	教授	医学分館長
		根本紀夫	総合理工学研究院	教授	筑紫分館長
		吉田昌彦	比較社会文化研究院	教授	六本松分館長
		松尾文碩	システム情報科学研究院	教授	情報基盤センター長
		柳原正治	法学研究院	教授	留学生センター長
		柴田篤	人文科学研究院	教授	
		濱田耕策	"	"	
		合山究	比較社会文化研究院	教授	
		菅英輝	"	"	
		田嶋誠一	人間環境学研究院	教授	
		土戸敏彦	"	"	
		石田正治	法学研究院	教授	
		熊谷健一	"	"	
		関源太郎	経済学研究院	教授	
		大下丈平	"	"	
		小谷耕二	言語文化研究院	教授	
		田嶋松二	"	"	
		宮原三郎	理学研究院	教授	
		石黒慎一	"	"	
		松井卓	数理学研究院	教授	
		吉川敦	"	"	
		高橋成輔	医学研究院	教授	
		小坂俊夫	"	"	
		花澤重正	歯学研究院	教授	
		前田勝正	"	"	
		美根和典	薬学研究院	教授	
		前田稔	"	"	
		桜井晃	工学研究院	教授	
		中武一明	"	"	
		赤岩芳彦	システム情報科学研究院	教授	
		原雅則	"	"	
		太田正之輔	総合理工学研究院	教授	
		清水昭比古	"	"	
		久原哲	農学研究院	教授	
		村田武	"	"	
		中山敬一	生体防御医学研究所	教授	
		柳哲雄	応用力学研究所	教授	
		三島正章	先導物質化学研究所	教授	
		大柿哲朗	健康科学センター	教授	
		石井保廣	附属図書館	事務部長	
オブザーバー		佐藤陽彦	九州芸術工科大学附属図書館	館長	



# 人事異動

(平成15年3月から平成15年6月)

(中央図書館)

- 3.25 吉松 直美 (図書情報第二掛) 育児休業
- 3.31 園田 國昭 (情報サービス課図書館専門員) 定年退職
- 〃 山田 律子 (情報システム課図書館専門員) 定年退職
- 〃 武藤 精二 (庶務掛長) 定年退職
- 〃 奥野 亜美 (参考調査掛) 定年退職
- 〃 青柳 良輔 (図書情報第二掛) 任期満了退職
- 〃 重藤 裕子 (データベース掛事務補佐員) 退職
- 〃 杉山 浩子 (データベース掛事務補佐員) 退職
- 4.1 小早川良規 (情報システム課長) 岐阜大学附属図書館情報管理課長へ
- 〃 片山 淳 情報システム課長 (三重大学附属図書館情報サービス課長から)
- 〃 深川 光郎 情報サービス課図書館専門員 (佐賀大学附属図書館図書館専門員から)
- 〃 松本 孝文 情報システム課図書館専門員 (工学部等総務課図書掛長から)
- 〃 野中 準二 庶務掛長 (生体防御医学研究所管理掛長から)
- 〃 田中有為子 (会計掛) 歯学部業務課専門職員へ
- 〃 福田 聡美 会計掛 (採用)
- 〃 昌子 喜信 図書情報第二掛長 (情報サービス課情報サービス第二掛長から)
- 〃 古賀 千明 (図書情報第二掛主任) 農学部森林資源科学部門事務室主任へ
- 〃 堀 優子 図書情報第二掛 (経済学部図書掛から)
- 〃 山崎 法子 図書情報第二掛 (文学部図書掛から)
- 〃 末信千代子 図書情報第二掛 (医学分館受入目録掛から)
- 〃 中村 綾 図書情報第二掛 (臨時的任用)
- 〃 久原 明美 (雑誌情報掛) 九州芸術工科大学附属図書館運用係長へ
- 〃 上田 大輔 (雑誌情報掛) 広島大学附属図書館情報管理課雑誌情報係へ
- 〃 片岡 真 雑誌情報掛 (広島大学附属図書館情報管理課雑誌情報係から)
- 〃 別府 妙子 雑誌情報掛 (法学部図書掛から)
- 〃 塚本 佳奈 情報サービス第一掛 (情報サービス第二掛から)
- 〃 河上 章彦 情報サービス第二掛長 (福岡教育大学附属図書館雑誌情報係長から)
- 〃 兵藤 健志 相互利用掛 (採用)
- 〃 堀之口廣教 参考調査掛長 (六本松分館受入掛長から)
- 〃 西村 理絵 (データベース掛長) 長崎大学附属図書館情報管理課電子情報係長へ
- 〃 田中由紀子 データベース掛長 (有明工業高等専門学校庶務課図書係長から)
- 〃 古賀由紀子 (データベース掛) 東京大学史料編さん所図書整理掛へ
- 〃 今林 安雄 電子情報掛長 (情報基盤センター電子情報サービス掛長から)
- 〃 荻原 昭子 データベース掛事務補佐員 (採用)
- 5.1 吉田 彩子 データベース掛事務補佐員 (採用)
- 〃 釣崎梨里子 データベース掛事務補佐員 (採用)
- 〃 青木 美妃 データベース掛事務補佐員 (採用)
- 6.1 深見 康子 データベース掛事務補佐員 (採用)
- (医学分館)
- 3.31 阿世知奈々 (閲覧掛事務補佐員) 退職

- 4 . 1 小柳 貴俊 受入目録掛(附属図書館情報サービス課情報サービス第一掛から)  
 " 牧瀬ゆかり 受入目録掛(採用)  
 " 釘宮 和呼 閲覧掛事務補佐員(附属図書館情報システム課データベース掛から)
- (六本松分館)
- 4 . 1 保田 秀人 受入掛長(附属図書館情報管理課図書情報第二掛長から)  
 5 . 1 稲本 千草 閲覧掛事務補佐員(採用)
- (文学部)
- 4 . 1 原田 紀子 図書掛長(附属図書館情報サービス課参考調査掛長から)
- (教育学部等)
- 4 . 1 井出 公東 図書掛(附属図書館情報管理課図書情報第二掛から)
- (法学部)
- 4 . 1 伊勢脇純子 (図書掛)京都大学総合人間学部・人間・環境学研究科図書館閲覧掛へ  
 " 入江いつ子 図書掛(教育学部等図書掛から)  
 " 高田 裕文 図書掛(医学分館受入目録掛から)
- (経済学部)
- 4 . 1 青木 良秀 (図書掛)有明工業高等専門学校庶務課図書係長へ  
 " 三木 崇史 図書掛(附属図書館情報サービス課相互利用掛から)  
 " 小野真由美 図書掛(大分大学附属図書館整理係から)
- (工学部等)
- 3 . 3 1 池浦美津子 (エネルギー量子工学部門図書室主任)定年退職  
 4 . 1 穴見 一博 図書掛長(文学部図書掛長から)  
 " 植田久美江 (図書掛事務補佐員)工営掛事務補佐員へ  
 " 青木祐海子 図書掛事務補佐員(採用)

## ● 図 書 館 日 誌 ●

(平成15年3月～平成15年6月)

- 3 . 5 国立七大学新旧図書館長懇談会(東京大学)  
 3 . 6 第6回法人格取得問題に関する附属図書館長懇談会(東京大学)  
 3 . 9 コロンビア大学、スタンフォード大学訪問(喜田講師)(～16日)  
 3 . 10 レファレンス共同データベース実験事業に関する参加館準備会議(国立国会図書館関西館)  
 3 . 11 福岡市総合図書館運営審議会(福岡市総合図書館)  
 3 . 13 電子ジャーナル・タスクフォース会議(東京大学)  
 3 . 14 全国漢籍データベース協議会第3回総会(学術総合センター)  
 3 . 19 文部科学省研究振興局情報課学術基盤整備室 高比良専門官来館  
 3 . 25 全学図書系掛長会議(中央図書館)  
 4 . 7 情報基盤センターとの理系図書館打合せ(中央図書館)  
 4 . 15 理系図書館専門部会(中央図書館)  
 4 . 16 情報リテラシー教育ワーキンググループ(中央図書館)  
 4 . 22 平成15年度図書系職員初任者研修(中央図書館)(～5月16日)  
 4 . 24 第33回九州地区国立大学図書館協議会(宮崎医科大学)  
 4 . 25 平成15年度第54回九州地区大学図書館協議会総会(宮崎大学)  
 5 . 1 平成15年度第1回電子ジャーナル・タスクフォース会議(東京大学)  
 5 . 9 附属図書館貴重文物展覧「昭和28年大水害写真・資料展 - 水・川・家・人の記憶 - 」(中央図書館)  
 (～18日)

- 5 . 10 附属図書館公開講演会「孤立水害被災地を歩く - 報道現場からの叫び」江頭光（元西日本新聞社会  
部記者）、「最近の都市防災を考える - 豪雨災害を中心として」橋本晴行（九州大学西部地区自然災  
害資料センター次長）（中央図書館）
- 5 . 23 平成15年度福岡県・佐賀県大学図書館協議会総会（西九州大学）  
" 文部科学省研究振興局 明野情報課長、横山室長補佐来館  
" 電子ジャーナル作業部会（中央図書館）
- 5 . 27 館長会議、附属図書館商議委員会（中央図書館）
- 5 . 28 国立大学附属図書館事務部課長会議（東京医科歯科大学）
- 5 . 29 国立大学図書館協議会賞受賞者選考委員会（東京大学）  
" 国立大学図書館協議会著作権特別委員会（東京大学）  
" 国立大学図書館協議会図書館高度情報化特別委員会（東京大学）  
" 国立大学図書館協議会常務理事会（東京大学）  
" 新図書館検討ワーキンググループ（中央図書館）
- 5 . 30 国立大学図書館協議会組織問題検討タスクフォース（東京大学）  
" 国立大学図書館協議会理事会（東京大学）  
" 漢籍講習会（中央図書館）
- 6 . 4 資料保存研修会（中央図書館）
- 6 . 5 セクハラに関する研修会（中央図書館）
- 6 . 6 図書系掛長会議（中央図書館）
- 6 . 11 平成15年度目録システム地域講習会（図書コース）（中央図書館）
- 6 . 12 平成15年度第2回電子ジャーナル・タスクフォース会議（東京大学）  
" 福岡市大学図書館 - 総合図書館協力推進会議（福岡市総合図書館）
- 6 . 18 簿記学習会（講師：藤田副館長）（中央図書館）（20、27日）
- 6 . 20 医学分館運営委員会（医学分館）
- 6 . 23 電子ジャーナル等検討専門委員会専門部会（中央図書館）
- 6 . 25 国立大学図書館協議会第50回記念総会（さいたま市）（～26日）
- 6 . 27 外国雑誌センター館会議（東京大学）

## お知らせ

### 附属図書館のホームページをリニューアルしました

4月から図書館のホームページが新しくなりました。日本語版と英語版のデザインを統一。トップページ  
の項目を整理して、分館や学部図書室へのリンクをわかりやすくしています。また、蔵書検索窓や「よくあ  
る質問」「今日の開館時間」「問い合わせ先一覧」などの項目を追加しました。お探しの情報が見つからない  
場合は、トップページ右上の「サイトマップ」もご利用ください。

[ ホームページのURL ] <http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/>

### 携帯版蔵書検索（OPAC）を公開しました

九大の蔵書が携帯電話から検索できるようになりました。分館・室ごとの携帯用ホームページも準備して  
います。どうぞご利用ください。

[ 携帯 OPAC の URL ] <http://osirabe.net/opac.kyushu-u/>

携帯電話専用ですので、パソコンからはアクセスできません。

[ 携帯 OPAC の利用方法 ] [http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/m/mobile\\_opac.html/](http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/m/mobile_opac.html/)

# 自 著 紹 介

円谷裕二 (人文科学研究院・教授)

## 「近代哲学の射程:有限と無限のあいだ」

円谷裕二著

放送大学教育振興会 2003 .3

[中央図書館 133 / Ts24]

本書は、近代哲学の射程を測るとともに、同時に、近代哲学という鏡を通して、現代哲学の射程を見定めることを意図している。その意味において、本書は、現代に生きる私たちがみずからを反省し、現代においては何が問うに値する問題であるのかを発見するために、現代とは異なる近代という時代に目を向けながら現代を相対化しようとする試みである。

近代哲学全般に共通する特徴は、有限と無限の あいだ から人間や世界を捉えようとするところに存する。近代哲学は、感覚的経験を超越した絶対者の立場から人間や世界を裁断する独断論でもなければ、全体性や無限性や超越性を顧みずにもっぱら経験的に実証可能なものだけに真理の基準を認める偏狭な科学的実証主義の立場に立つのではなく、むしろ、有限性の立場から無限や全体性を志向しようとするところにその核心が存する。

本書は、有限と無限の あいだ からの思考を徹底したデカルトとカントという二人の哲学者に焦点を絞りながら、近代哲学を考察している。

酒井治孝 (比較社会文化研究院・教授)

## 「地球学入門:惑星地球と大気・海洋のシステム」

酒井治孝著

東海大学出版会 2003 .3

[中央図書館 450 / Sa29]

地球環境問題が声高に叫ばれている昨今ですが、日本の学校教育で「地球」について学ぶ機会は非常に限られています。中学校の理科で石ころや天気の話を知ったら、それ以降、高校で地学を学ぶ機会は

ほとんど無いのが現状です。大学の一般教養教育の地球科学は、地球のことを統一的に学ぶ、一生に一度の機会ということになります。このような学生にとって適当な、地球科学の基礎知識が過不足なく網羅され、1冊にまとまった教科書がありませんでした。そこで本書を執筆した次第です。本書では私達の住む地球について、現代人として知っておくべき基礎知識を紹介すると同時に、地球システムの謎を解く面白さを伝えるよう努めました。また、私の講義を聴かなくても、“読めば解るテキスト”を目指しました。読者からは次のような感想が届いています。

①図が多く分かり易く美しい本(図や写真などが約400点)。迫力のあるカラーグラビアが16頁ついてハードカバーで2800円は安い。②大気、海洋、固体地球、地球環境問題など幅広い分野を網羅しており、地球が一個の生命体のようにシステムを構成していることが解る。③各章毎に参考図書が多数収録されている。また関係研究機関のホームページアドレスや単位・公式などの諸表は便利。

堺正紘 (農学研究院・教授)

## 「森林資源管理の社会化」

堺正紘編著

九州大学出版会 2003 .3

[中央図書館 655 / Sa29]

林家等の森林経営マインドが後退し、間伐遅れや皆伐跡地の再造林放棄などが増加している。森林・林業・山村をめぐる厳しい状況の中で、造林補助金等によって造林意欲を喚起し、森林を整備するという伝統的な森林資源政策が窮地に陥っているのである。

本書は、このような森林資源管理を「新たな社会化」の視点から再検討している。すなわち、全国に拡大しつつある再造林放棄の実態と背景を調査、分析し、さらに新たな森林資源管理のあり方を、森林

資源所有の社会化、整備費用負担の社会化、合意形成の社会化という3つの視点から多角的に考察している。

循環型社会の構築にとって成熟した人工林資源の利・活用の拡大、活性化と伐採跡地における更新の確保は、焦眉の課題である。そのためには基本的な生産基盤である立木保有の安定化が不可欠であることから、「長期伐採権」の制度化を提案している。

江原幸雄（工学研究院・教授）

### 「中国大陸の火山・地熱・温泉： フィールド調査から見た自然の一断面」

江原幸雄編著（Kuario 叢書；2）  
九州大学出版会 2003 .3

[ 中央図書館 453 822 / E34 / ]

地球の息吹である「火山・地熱・温泉」これらは日本列島に多数存在し、地熱発電あるいは温泉入浴等としてもわれわれはその恩恵を受けています。それではお隣の中国大陸ではそれらはいったいどのようなになっているのでしょうか？私たちは10年間にわたり、中国の協同研究者と共に、時には高山病に苦しみながら、中国のフィールド調査を行ってきました。広大な中国大陸にも「火山・地熱・温泉」がありました。中国東北部の大平原を埋め尽くす広大な溶岩原。200万年以上にわたって成長を続ける巨大な玄武岩質火山長白山（白頭山）。プレートの衝突によって形成されたチベットの活発な地熱活動。これらの姿は日本列島とずいぶん違っていました。

本書では、わが国でもあまり知られていない中国大陸の「火山・地熱・温泉」に関して紹介すると共に、フィールド調査の苦勞あるいは楽しさ、また、いまだに中国各地に残る第二次大戦の爪跡などもエピソードとして紹介し、多くの方に楽しく読んで頂ける科学的読み物となることを目指しました。

井本泰治（薬学研究院・教授）

### 「Recent research developments in protein folding stability and design」

editors, M. G. Gromiha & S. Selvaraj  
Research Signpost, 2002

[ 医学分館 QU55 / R295 / 2002 ]

タンパク質のフォールディング（一本鎖のタンパク質が折り畳まれ、タンパク質の形ができること）機構の解明は、生化学領域でチャレンジングな課題の一つであるが、最近、実験的・理論的アプローチにより、タンパク質のフォールディングに関する情報が急速に蓄積されつつある。このことは、タンパク質の安定性の理解やタンパク質のデザインをする上で非常に役立っている。

この本は、21の章からなり、タンパク質のフォールディング、タンパク質の安定性、タンパク質デザインの研究だけでなく、タンパク質の構造解析、タンパク質構造予測に関する研究も紹介されている。各章はそれぞれの著者自らの研究が10～20頁の英文で記述され、著者らの研究内容を知るには適度な長さである。図が多用されており、この領域を概観したい研究者・学生にとって理解しやすい内容となっている。

Michel, Wolfgang（言語文化研究院・教授）

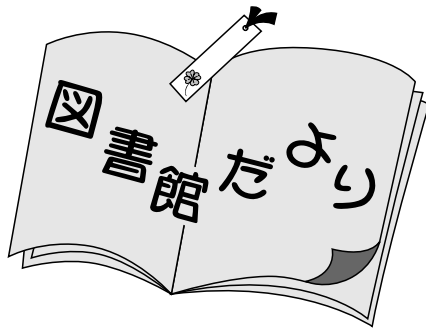
### 「村上玄水資料（ ）」

ヴォルフガング・ミヒェル編  
（中津市歴史民俗資料館分館村上医家史料館資料叢書）  
中津市歴史民俗資料館分館村上医家史料館 2003 .3

[ 六本松分館 490 21 / Mi13 ]

編者は、平成12年夏から中津市の委託により村上医家史料館の資料の調査を行っており、平成16年予定している中津藩の蘭学に関する本の刊行に向け準備中である。編纂の対象となった資料を、多くの関心のある人々にできるだけ早く見ていただけるように、まず、平成13年春に村上家七代村上玄水の文書をいくつか刊行することになった。これらの3編は文政2年（1819）に玄水が行った九州初の解剖（全国26番目）に関連して書かれたものである。またもう一つは天文学に関する写本で、玄水の学問的関心の幅広さを示すものである。原文の地に読み下し文、現代語訳、内容についてのさまざまな注釈もつけられており、奥平昌高の典医村上玄水について専門家でない人にもわかりやすくなっている。

最初の三つの文書は、久留米大学の比較文化研究所の吉田洋一が、天文学の文書は本学比較社会文化学府の大島明秀が、序文と玄水の生涯についての解説は編者が担当している。



## 本学関係者著作寄贈図書

蔵書の充実を図るため、図書館では著作物刊行の節は一部ご寄贈くださるようお願いしております。今回は、次の教官からご寄贈いただきました。厚く御礼申し上げます。

### 中央図書館

円谷裕二（人文科学研究院・教授）

「近代哲学の射程：有限と無限のあいだ / 円谷裕二著」

放送大学教育振興会 2003 .3

[ 中央図書館 133 / Ts24 ]

酒井治孝（比較社会文化研究院・教授）

「地球学入門：惑星地球と大気・海洋のシステム / 酒井治孝著」

東海大学出版会 2003 .3

[ 中央図書館 450 / Sa29 ]

堺 正紘（農学研究院・教授）

「森林資源管理の社会化 / 堺正紘編著」

九州大学出版会 2003 .3

[ 中央図書館 655 / Sa29 / ]

江原幸雄（工学研究院・教授）

「中国大陸の火山・地熱・温泉：フィールド調査から見た自然の一断面 / 江原幸雄編著」（Kuaro 叢書；2）

九州大学出版会 2003 .3

[ 中央図書館 453 822 / E34 ]

安井久喬（医学研究院・教授）

「先天性心疾患手術書 / 角秀秋、益田宗孝編集幹事 監修：安井久喬」

メジカルビュー社 2003 .4

[ 中央図書館 493 94 / Ka14 ]

### 医学分館

井本泰治（薬学研究院教授）

「Recent Research Developments in Protein Folding Stability & Design / editors, M.G. Gromiha & S. Selvaraj」

Research Signpost, 2002

[ 医学分館 QU55 / R295 / 2002 ]

### 六本松分館

Michel, Wolfgang（言語文化研究院・教授）

「村上玄水資料 I / ヴォルフガング・ミヒェル編」（中津市歴史民俗資料館分館村上医家史料館資料叢書）

中津市歴史民俗資料館分館村上医家史料館  
2003 .3

[ 六本松分館 490 21 / Mi13 ]

### 法学部

西山芳喜（法学研究院・教授）

「監査役制度論：代替的機関説の試み / 西山芳喜著」

中央経済社 1995 .3

[ 法学部 Pj20 / N / 191 ]

李銀榮（法学研究院・助教授）

「民法Ⅰ：民法總則・物権法 / 李銀榮著 第3版」

博英社 2002 .9

[ 法学部 Nj00 / M / 95 - 3 ]

「民法Ⅱ：債権總論・債権各論・親族相続法 / 李銀榮著 第3版」

博英社 2002 .9

[ 法学部 Nj00 / M / 95 - 3 ]



# 新図書館だより

新図書館推進室



## 新図書館におけるサービスの概要について

附属図書館では、新図書館（中央図書館及び理系図書館）におけるサービス計画を検討しているところです。今後さらに細部にわたって詳細な検討を行う必要がありますが、今回は、現在検討されているサービスの内、いくつかのサービスを取り上げてその概要についてご報告します。今後の検討の参考にさせていただくために、広く皆様からのご意見をお寄せいただきたいと思います。

### 資料の運用

新図書館では、学内における資源共有を進め資料の有効活用を図るため、できるだけ図書館への資料の集中化を図ることにしています。その一方で、教官研究費で購入された資料については、必要な冊数を研究室へ長期貸出します。集中化を進めることと、教育・研究に必要な資料を研究室の身近に置くことのバランスをうまく図れるような運用方法（貸出規定）を検討しています。

図書館へ資料を集中化することによって、図書館へ行けば必要な資料がいつでも利用できるような状態に近づけることができます。また、館内に長時間滞在しながら学習、研究ができるように、館内における閲覧環境、設備についても十分に留意しながら計画を進めています。例えば、長時間静かな環境で学習、調査・研究が行える研究個室やキャレル、グループで討議しながら学習や調査・研究ができるグループ学習室、ノート・パソコンを持ち込んで利用できる電源と情報コンセント付きの閲覧席等を計画しています。さらに、自販機を設置した休憩室を設けるなど、長時間滞在者のためのリフレッシュ・エリアも計画しています。

### 学内/学外文献複写・相互貸借(ILL)サービス

最寄りの図書館で所蔵されていない資料については、学内の他館や学外の手機関から文献複写や図書現物を取り寄せて提供するサービスを計画し

ています。国内の機関に所蔵されていない資料に対しては、BLDSC（英国図書館原報提供センター）やGIF（注1）に参加している海外の図書館からも文献複写や図書の取り寄せが可能です。これらのサービスについては、直接窓口で申しこみができる他、オンラインでの申込ができるようになります。

（注1）GIF

GIF（Global ILL Framework）プロジェクトは、国際的な学術情報の流通を促進するために、国立大学図書館協議会（国際学術コミュニケーション特別委員会）が国立情報学研究所、国公私立大学図書館協力委員会、米国研究図書館協会及び北米日本研究資料調整協議会等と協力して進めているプロジェクトです。

2003 6現在、日本側74機関81館、米国側32機関33図書館が参加しています。

### 図書の購入

新キャンパスでは、教官研究費による図書の購入申込は、最寄りの図書館に対して行っていただくこととなります。また、購入した資料の研究室への貸出についても、直接図書館から研究室に対して行います。購入申込は、直接窓口で申しこみができる他、研究室等からのオンラインでの申込ができるようになります。

### 配送システム

キャンパス間における資料の配送、及び図書館から研究棟への資料の配送を行うための配送システムを整備することとしています。この配送システムにより、学内の他館から取り寄せる資料や、教官研究費で新たに購入された資料を迅速に配送できるように計画しています。

ご意見の提出先：附属図書館情報管理課企画掛  
（E-mail kikaku@lib.kyushu-u.ac.jp）

### お詫びと訂正

前号（Vol 38 no 3）の新図書館だより（第2回）において、地階と1階の面積を合計26,830㎡と表記しておりましたが、6,832㎡の誤りでした。お詫びして訂正させていただきます。

\*\*\*\*\*お詫びと訂正\*\*\*\*\*

前号巻数を一部 Vol 39 No 3と表記して配布しておりましたが、Vol 38 No 3の誤りでした。お詫びして訂正させていただきます。